

【特集】



ユニバーサルツーリズム

～カルチャー×ココロ×エコで地域を育てよう～



今年度から、ゆふいん財団の地域課題解決の重点プロジェクトとして「ユニバーサルツーリズム」に取り組んでいます。ユニバーサルツーリズムとは「すべての人が楽しめるように、高齢や障がいの有無にかかわらず、誰もが気兼ねなく参加できる旅行」といえます。対象としては、高齢者や障がい者だけでなく、旅行をする上で何らかの不自由さを抱える妊産婦や乳幼児連れ、そして言語や習慣の違いを持つ外国人も対象になります。

本プロジェクトでは「①カルチャー：外国人旅行客への対応」「②ココロ：高齢者・障がい者への対応」「③エコ：湯布院の自然環境をしっかりと伝え、届けることへの対応」の3つのテーマ設定をしています。各テーマで情報・ヒト・環境を育てることで「ゆふいん発ユニバーサルツーリズムを創ること」「ユニバーサルなゆふいん育むこと」を目標

とし、各課題に対応した担い手づくりや仕組みづくりに取り組んでいきます。

具体的には各種ユニバーサルツーリズムのハンドブックを作成し、講座・研修を実施していきます。また、地域の皆さんが学び合い、磨き合いをするためのツーリズム円卓会議やおもてなし自慢大会を開催していきます。

なお、本プロジェクトを実施するにあたっては、公益財団法人トヨタ財団の国内助成プログラム「そだてる助成」のご支援を頂きました。



「未来の担い手と創造する持続可能なコミュニティ」全国公募の応募総数230件の中から10件のプロジェクトが採択されました。



カルチャーチームの取り組み紹介



平成30年4月に湯布院にきた台湾の2人は「インターナショナルフレンズ in ゆふいん」を通じてやっとながりました。
(左からナム、ジョン、チヨ 平成30年11月)

インバウンドの観光客が急増している中、外国人の存在を身近に感じませんか？大分県ではラグビーW杯の開催予定されており、インバウンド対策が注目されています。一方で、観光客だけではなく由布市に住んでいる外国人の数は395人で、2年前の約2倍に急増しています。在住外国人の方も含めた受け入れ体制がまだ不十分なところが多いです。「インバウンド×在住外国人」この二つの課題を同じものとしてとらえ、両者の対策を講じていくことがカルチャーチームの大きな試みとしてあります。

まずは「インターナショナルフレンズ in ゆふいん」という団体を設立しました。在住外国人の実態調査をし、現在の登録メンバーはベトナム、日本、ネパール、タイ、中国、台湾、ミャンマーの15名です。外国人のネットワー



8月23日インバウンド推進協議会OITA第3回定例会
(詳しくは、[<https://www.facebook.com/iboita/>]まで)

クを促進するためのフェイスブックやLINEグループを作成し、今後交流会を開催する予定です。

これらのプラットフォームを活用して、お互いの存在を知り、つながり、親睦を深め、困りごとをシェアし解決する方法を共に考えていきます。また、地域のイベントへの参加、「やさしい日本語」の会の実施など、日本人と外国人が交流できる機会を提供していきます。

また、「インバウンド推進協議会OITA」に参画しています。多くの事業者の方々と一緒にインバウンドの課題・取り組み・解決策について考え、情報を共有しています。

今後は、インバウンド対応と在住外国人の受け入れに関する情報をまとめ、外国人受け入れマニュアルを作成していきたいと思っています。



ココロチームの取り組み紹介

超高齢化が進展する中で、国内総人口のうち、高齢の方や障がいのある方の割合は3割以上を占めています。一方、今後は高齢の方、障がいのある方の旅行が増えると予想されていますが「ご本人の心身の状況、情報提供不足から、旅行や外出に不安を感じている方が多い」という調査結果があります。

高齢の方や障がいのある方は、生活をする上で様々な「バリア」を感じています。階段や段差といった「物理的なバリア」だけではなく、情報の不足や分かりにくさ、障がいに対する理解不足等が様々な不便を生じてさせていることが考えられ、そうした「心のバリア」を取り除く必要があります。

ココロチームでは高齢者、障がい者が抱える現在の状況を調査、分析し、その結果を地域に情報提供をしていきます。高齢の方の困りごとや障がいへの理解を深め、どのようなバリアが生じているかを地域に広げていきたいと考えています。NPO法人自立支援センターおおいたとの協働の取り組みです。

8月18日おおいたユニバーサルツーリズム・その結果を地域に情報提供をしていきます。高齢の方の困りごとや障がいへモデルコース体験会@やまなみエリア
主催：別府・大分バリアフリーツアーセンター



エコチームの取り組み紹介

エコチームでは「自然環境を感じられるおもてなし（エコなおもてなし）」を切り口に、自然環境を育て、訪れて楽しく、人と生きものが共に過ごせる湯布院を育んでいきます。

「ゆふいんしらべ」という湯布院の勉強会を開催しています。内容は四季折々の自然が奏でる調べを、一緒に現地に行き楽しみながら調べていこうというものです。湯布院のエコ知識のレベルアップを目指していきます。

他にもエコスポット調査では、自然を感じられる過ごし方ができる場所（エコスポット）の調査を行っています。ベビーカーを押した家族連れがゆっくり町を散策し、レジャーシートを広げてくつろいだり、お弁当を食べたりといった楽しみ方などを調べていきたいと思っています。



10月16日ゆふいんしらべ@金鱗湖

人材育成ゆふいん財団 掲示板

(1) 一般寄付金としてご寄付をいただきました。

- ・足利 能彦 さま（香典返しとして） 100,000円
- ・渋谷 恵治 さま（香典返しとして） 100,000円

温かいご厚情ありがとうございました。公益目的事業1・2の推進、充実に有意義に活用させていただきます。

(2) ゆふいんラヂオに出演しています。

ゆふいん財団は毎月第1月曜日に、ゆふいんラヂオ局<Natural Hours>の11時台に出演しています。ゆふいん財団が取り組んでいる公益活動や様々な学びの機会、ボランティア協力などの呼びかけをしています。

また、<ONE MORE TIME>毎週日曜日11時（再放送は毎週水曜日19時）においてCM提供をしています。絵本が大好きなサウンドコンシェルジュ佐藤由美さんが、毎回1冊の絵本をピックアップし、その魅力をお伝えする番組です。ぜひ、お聴きください。



編集後記

秋が深まり、紅葉がきれいな季節となり、湯布院はたくさんの観光客が訪れています。「交通渋滞があつて大変だな～」と感じる一方で、とても感心した出来事がありました。先日火災があつたのですが、その現場において初期消火にあつたのが彦根市消防団の観光客の方でした。この初期消火のおかげで延焼を防げたと思います。また、交通誘導や消火活動のサポートをして下さる地元の方々もすばらしかった！観光客、地域の方々の活躍に感動しました！（編集責任者：大澤直彦）

【人材育成ゆふいん財団事務局】

住所 由布市湯布院町川上1647

TEL:0977-85-4748 FAX:0977-85-4759

E-mail:info@yufuin-zaidan.jp

H P :http://www.yufuin-zaidan.jp

【発行日】30年11月22日

【発行】公益財団法人人材育成ゆふいん財団

【発行人】溝口薫平

【編集】人材育成ゆふいん財団企画委員会



検索

ゆふいん財団



facebook

みらいんさんは人材育成ゆふいん財団の市民の実践活動への情報・ネットワーク事業を応援します



みらい信用金庫

URL <http://www.oitamirai.co.jp/>